

3 指導業務

県内外の木材加工業、住宅関連企業、建築設計事務所等を対象に、各研究部が行った技術相談、指導及び依頼試験の実績は次のとおりである。

3-1 技術相談依頼及び指導

(1) 件数

年 度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	累計
材料開発部	31	83	126	74	38	74	50	476
木材加工部	62	218	224	189	183	141	133	1,150
構法開発部	134	229	355	378	353	287	328	2,064
企画管理課	—	—	40	27	33	48	46	194
計	227	530	745	668	607	550	557	3,884 件

(2) 依頼者内訳数

	企 業	行政機関	個人等	計
材料開発部	38	6	6	50
木材加工部	103	27	3	133
構法開発部	195	127	6	328
企画管理課	30	13	3	46
H19 計	366	173	18	557
H18 計	392	130	28	550
H17 計	415	185	7	607
H16 計	481	160	27	668
H15 計	548	178	19	745
H14 計	402	111	17	530
13~19 累計	2,777	980	127	3,884 件

(森林組合等団体は企業に、大学等教育機関は行政機関に含む)
 ※企業（団体を含む）からの相談が約 73 %

(3) 主な試験及び相談・指導内容

平 成 19 年 度	内 容
材料開発部	凝縮液の抗インフルエンザ活性について・スギ心持ち構造材の高温乾燥スケジュール・内部割れと仕口強度の関係・寸法安定剤注入材の乾燥方法・樹皮の密度、カロリーについて等
木材加工部	ヒノキ-スギハイブリッド集成材の性能について・オビスギの耐火性について・湾曲集成材を用いた壁の試験方法・スギによる柱-梁接合部の強度性能・韓国へ輸出したスギ板の変形等
構法開発部	日本の木造住宅輸出の可能性・200 年住宅の技術マニュアルについて・宮崎県の古い集成材施設調査について・中断面スギ集成材による長スパン対応等

3-2 依頼試験

(1) 依頼試験実績

(件、円)

年 度	13	14	15	16	17	18	19	計
依頼件数	125	141	171	81	50	79	60	707
金 額	1,572,860	1,392,610	1,833,485	736,450	632,755	679,68	625,460	6,861,580

(2) 試験内訳件数

(件)

試験内容／年度	13	14	15	16	17	18	19	計
短柱圧縮試験	2		1	4	10			17
床せん断試験	14	7					6	27
壁せん断試験	14	6	26	1	8	10		65
実大振動試験		1		4		9	8	22
曲げ試験	39	20	23	14	9		6	111
引張試験	9		5	3	2	1	1	21
長柱圧縮試験		2	4					6
熱伝導率測定試験			1	7		7		15
小試験体強度試験		56	42	14	8	28	14	162
耐候性試験	22	5	7				8	42
接着試験	12	11	7	3				33
含水率試験	6	18	27	5	3	4	5	68
乾燥試験(蒸気式)			1					1
収縮膨張試験		2	2	1				5
家具耐久性試験		4	4	4				12
材質試験(低倍率)			3					3
材質試験(グレーディング)			1					1
材質試験(組織観察)			4	1	1	4		10
吸音率測定試験				1	1	4	9	15
化学試験(可視紫外線試験)		1			3	4	1	9
動的ヤング係数測定試験	1	3	6	19	1	6	1	37
摩 耗 試 験			2					2
そ の 他 の 試 験					2			2
成績書の副本	6	5	5		2	2	1	21
合 計	125	141	171	81	50	79	60	707

(注) 曲げ試験には、小試験体強度試験を含む。

(3) 県内、県外別の試験内訳件数

(件)

年 度	13	14	15	16	17	18	19	計
県 内	109	111	130	40	31	52	34	507
県 外	16	30	41	41	19	27	26	200
計	125	141	171	81	50	79	60	707

3-3 研究会等の開催

3-3-1 スギシンポジウム2007（平成19年度）の開催

各県では、戦後の積極的なスギ造林の推進の結果、現在ではその資源は成熟期を迎え、今後も確実に資源の充実が見込まれている。

このような中で、行政・民間一体となった県産材利用の施策が図られているが、今後もさらなる県産材利用を推進するためには住宅等建築分野等はもちろんのこと、それ以外にもスギの新たな可能性を見いだすことが必要であり今回、それらを検討し、今後のスギ材産業の展開に繋げるものとして、九州木材業振興対策協議会と共催して開催しました。

1	テーマ 「スギの新たな可能性」
2	期日 平成19年11月6日（火）13:30～17:00
3	場所 ホテルプラザ宮崎 宮崎市川原町1-1
4	参加者 200人
5	プログラム（パネルディスカッション） ・コーディネーター 九州大学大学院農学研究院教授 村瀬安英 ・パネリスト 岩手大学農学部教授 関野 登 演題「木材加工廃材を原料とする建築用断熱材の開発と実用化」 マイウッド・ツー株式会社 代表取締役社長 福山 昌男 演題「圧密化技術によるスギの需要拡大の課題」 ネットイーグル株式会社 代表取締役 祖父江 久好 演題「ツーバイフォーにスギを」 宮崎県木材利用技術センター木材加工部長 藤元 嘉安 演題「オビスギの特徴とその活かし方」 ・総括 宮崎県木材利用技術センター所長 有馬 孝禮
6	現地見学会 平成19年11月7日（水） （1）日南市堀川運河屋根付き木橋 樹齢120年のオビスギ30本を用い、金具を一切使わないで組み上げられている。長さ45.8m、幅3.6mの人道橋。接合部には2,400個の込み栓が使われている。 （2）※日南市天福球場屋内投球練習場 天福球場屋根スタンドと同じ規格の製材品で組み上げられている地域型地元中心の構造物である。

3-3-2 木材加工技術懇談会

木材の需要拡大に繋がる研究開発をより推進するため、製材・加工・住宅関連企業等の需要ニーズを的確に把握することを目的として、関係者を招き、センターに対する意見、要望等を聴取する加工技術懇談会を県内2ブロックで開催しました。

会議名	期日	開催場所	参加団体数	参加者
第1回 木材加工技術懇談会	平成19年 12月20日	宮崎県庁 環境森林部会議室	団体：7 企業：5 行政：3	23人
第2回 木材加工技術懇談会	平成20年 3月4日	木材利用技術セン ター大会議室	団体：6 企業：8 行政：3	26人

3-3-3 木工教室開催

親子で木材を加工し、ラック等の製作を体験することによって、親子のふれあいを深めながら木材に親しんで頂くこと、また、木材利用技術センターを身近に感じていただけることを目的として開催しました。

開催日	開催場所	参加者	木工教室内容	備考
平成19年 8月19日(日)	宮崎県木材利用 技術センター	都城市内の小学 校4～6年生の 親子200名	・地球環境と木材利用 についての研修 ・センター内見学 ・本棚,マガジンラック, プランター BOX の 製作	都城地区木材 青壮年会と共 同で開催
平成19年 11月17日(土)	宮崎県木材利用 技術センター	都城市内の小学 校4～6年生の 親子20組	・マガジンラックの製 作	

3-4 講師派遣

講師派遣

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
有馬 孝禮	2007.4.25	林業経営者協会総会	「スギは強い？弱い？」	宮崎県林業経営者協会
有馬 孝禮	2007.5.18	日中交流健康住宅セミナー大連	「命をはぐくむ住宅の「空間」と「時間」	NPO 法人日中友好健康住宅建築技術交流協会
有馬 孝禮	2007.5.27 ～ 6.2	南京林業大学シンポジウム	木材利用の重要性	南京林業大学
有馬 孝禮	2007.6.6	繊維板工業会記念講演会	なぜ今木材か	繊維板工業会
有馬 孝禮	2007.6.9	地球温暖化を考えるフォーラム 2007「木で学校をつくるということ」	木造校舎は一つの単語	日本木材青壮年団体連合会
有馬 孝禮	2007.6.30	ぎふ木造塾 2007	木材を使うということ	(社) 岐阜県建築士会
有馬 孝禮	2007.7.7	SGEC 公開フォーラム in 九州	変遷する住宅への国産材の対応	緑の循環認証会議
有馬 孝禮	2007.7.20	ブルー&グリーンプロジェクト シンポジウム「森をまもり、育む家づくり」	木材利用と森林保全の両点の視点から	(財) ベターリビング
有馬 孝禮	2007.8.23	木青会研修会	木材を使用する意義	宮崎木青会
有馬 孝禮	2007.8.24	バイオマス資源活用・シンポジウム in 都城	地域バイオマス資源の活用に向けて	(財) 宮崎県産業支援財団
有馬 孝禮	2007.9.29	NPO 法人認証 二周年記念特別講演会	「なぜ、今木材なのか」	NPO 法人 SHS 友の会
有馬 孝禮	2007.11.12	トップセールス (福岡)	なぜ、今スギか	宮崎県
有馬 孝禮	2007.12.4	流域管理	なぜ今木材か	流域管理

講師派遣（つづき）

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
有馬 孝禮	2007.12.11	総合農業試験場研究員資 質向上研修会	木材利用のすすめ	総合農業試験場
有馬 孝禮	2008.1.23	木造住宅セミナー	木と建築	宮崎県住宅供給公 社
有馬 孝禮	2008.2.28	国民参加の森林づくりシ ンポジウム	草と木のバイオマスを 生かす	朝日新聞社他
藤本 英人	2007.8.24	バイオマス資源活用シン ポジウム in 都城	都市エリア事業を通して 見えてきた木材乾燥の 問題点とその改善提案	宮崎県産業支援財 団
藤本 英人	2007.12.18	化学技術戦略推進機構講 演会	シロアリとの共存を目 指して	化学技術戦略推進 機構
藤本 英人	2008.1.22	林業雇用管理事例研修会	スギ精油	宮崎県林業労働機 械化センター
小田 久人	2007.5.26	宮崎県乾燥技術者養成研 修会	木材乾燥	県木連
小田 久人	2007.10.15	林業普及員研修会	板材の乾燥速度	宮崎県
小田 久人	2007.10.25	おび杉セミナー（大阪）	宮崎県産スギの特徴	宮崎県
小田 久人	2008.1.18	JAS 研修会	木材の乾燥及び強度	県木連
小田 久人	2008.3.5	鹿児島県木材乾燥技術者 養成研修会	木材乾燥	鹿児島県林材協会 連合会
藤元 嘉安	2007.5.25	木材についての勉強会	木材の利用と地球環境 保全	祝吉小学校
藤元 嘉安	2007.6.5	木材接着講習会	合板製造・二次加工、 接着試験方法	日本木材加工技術 協会
藤元 嘉安	2007.6.14	木材研修会	木材の利用と地球環境 保全	末吉高校

講師派遣（つづき）

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
藤元 嘉安	2007.7.19・20	日本木材加工技術協会接着講習会	合板製造・二次加工、接着製品の試験法	日本木材加工技術協会
藤元 嘉安	2007.10.10	韓国・山林科学院講演会	宮崎県の林業及び木材産業－宮崎県木材利用技術センターの紹介を含めて－	韓国・山林科学院
藤元 嘉安	2007.10.11	韓国木質ボード研究会講演	「オビスギの特徴とその活かし方」	韓国木質ボード研究会
藤元 嘉安	2007.10.15	林業普及員研修会	構造用集成材の JAS 改正－低曲げヤング係数スギラミナを用いた構造用集成材－	宮崎県 山村・木材振興課
藤元 嘉安	2007.10.26	都城家具工業会交流会	木材の特徴とその活かし方	都城家具工業会
藤元 嘉安	2007.11.6	スギシンポジウム 2007	オビスギの特徴とその使い方	木材利用技術センター
藤元 嘉安	2008.2.4	木材についての勉強会	木材の利用と地球環境保全	祝吉中学校
荒武 志朗	2007.4.25	宮崎県林業経営者協会春季総会	スギは強い？弱い？	宮崎県林業経営者協会
荒武 志朗	2008.2.12	国産材の利用促進を目的としたシンポジウム	スギは強い？弱い？	宮崎県木材青壮年連合会
森田 秀樹	2007.7.18	県森連青年部研修会	県産スギ丸太及び製材品の評価と利用方法	県森連
森田 秀樹	2007.8.28	おび杉セミナー（東京）	宮崎県産スギの特徴	宮崎県
森田 秀樹	2007.10.20	宮崎県子供エコクラブ交流会	木材の利用と地球環境	宮崎県子供エコクラブ
森田 秀樹	2007.12.7	クラフトマンズクラブ講演会	木材接着の基礎	都城市家具工業会

講師派遣（つづき）

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
森田 秀樹	2008.1.21	「みやざきスギ」セミナー（福岡）	宮崎県産スギの特徴	宮崎県
飯村 豊	2007.6.27	宮崎県建設技術協会都城支部	県産オビスギの活用を目指して	宮崎県建設技術協会都城支部
飯村 豊	2007.7.6	九州木材産業振興対策協議会	建設技術から見た地材地建の可能性	
北田 孝二	2007.8.28	おび杉セミナー（東京）	宮崎県産材の家づくり	宮崎県
北田 孝二	2007.10.25	おび杉セミナー（大阪）	宮崎県産材の家づくり	宮崎県
北田 孝二	2007.12.20	改正建築基準法等の施工による影響についてのワーキング	四号建築物に係わる確認の特例について	宮崎県
北田 孝二	2008.1.21	「みやざきスギ」セミナー（福岡）	宮崎県産材の家づくり	宮崎県
北田 孝二	2008.1.23	木造住宅セミナー	宮崎県産スギスパン表と接合	宮崎県住宅供給公社
上杉 基	2008.1.23	木造住宅セミナー	延岡市竜巻被害の建物調査報告	宮崎県住宅供給公社

3-5 取 材

取 材

氏 名	取材日	取 材 内 容	取 材 名
有馬 孝禮	2007.7.23	炭素材料 磁力で向き変更	日経産業新聞
有馬 孝禮	2007.7.23	木の効用心身にも顕著	西日本新聞
有馬 孝禮	2007.10.2	新材料の揺らん期（昭和 62 年～平成 9 年）	住宅と木材 vol.30 No. 359
中西 幸一	2008.1.9	「森の待合所」及び「木材利用」	MRT ラジオ 「スクーパーレポート」
藤本 英人	2007.4.19	スギの油でゴキブリ退散	CIRCUS 5月号
藤本 英人	2007.5.4	省エネ木材乾燥機開発	宮崎日々新聞
藤本 英人	2007.5.4	スギ精油で害虫駆除	宮崎日々新聞
藤本 英人	2007.11.30	スギの有効利用最前線	NHK テレビ
藤本 英人	2007.12.3	オビスギオイルで防虫剤	UMK テレビ
荒武 志朗	2007.6.12	「宮崎の家は宮崎材で、今注目！ 県産スギ」	UMK テレビ「みやざきゲン キテレビ」番組出演（公開実 験とインタビュー）
飯村 豊	2007.7.9	「時代と共に変わる木材利用ーオー クからパイン、スギへー」	MRT ラジオ「サンデーラジ オ大学 2007.7.22 放送」番組 出演（インタビュー）